❷大館南地区 【水土里ネット二井田真中】

地元中学校の農園活動を支援 “キーワードは「地域・環境・守る」”

活動も７年目を迎え、南中生たちにとっても恒例行事の一つとして定着してきております。

マルチがけ作業については１年生から３年生の生活委員12名に頑張っていただき、１時間ほどで畑の基礎づくりを完成しました。

今年度は「さつまいも」、「枝まめ」、「やまのいも」の３種類を植えましたが、水の管理や雑草処理、収穫作業を体験しながら、管理の重要性や環境保全につながることへの理解を深めてもらうなど、水土里ネットが目指す「地域・環境・守る」について理解が定着してきたものと感じております。

今後も活動を続けながら、水土里ネットの役割や環境保全への一層の理解、認識を深めてもらえるよう運動を展開していきたいと思っています。

活　動　体　制	
実　施　主　体	水土里ネット二井田真中（大館市二井田真中土地改良区）
後　援　・　連　携	大館市立南中学校
実　施　期　間	①６月10日、６月16日
参　加　者	大館市立南中学校　生徒80名
報　道　関　連	特になし
活動実施年数	７年
連　絡　先	〒018-5751　大館市二井田字高村56　大館市二井田真中土地改良区　TEL. 0186-49-5010
そ　の　他	県奨励賞（H22）

【活動内容に対する自己評価】　水土里ネット二井田真中（菅原恵里子）

○活動の目標及び達成率	目　標	農園活動を通じ地域の環境と水土里ネットの役割を理解してもらう。
	達成率	75%
○活動に対する評価	•「地域・環境」という共通の目的をもって、中学校との連携体制が定着した。	

判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
１．取組体制について			④運動のＰＲ	C	
①役職員・組合員の参加	A	活動に対する理解の定着	４．運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	地域の環境と役割について理解を深めてもらうため活動を継続的に行っている	①他組織との連携構築	C	学校との連携
２．活動の意味性について			②地域住民等の理解	B	生徒を通して理解を深めている
①基本理念の設定	A	作る事により地域や環境が守られていることへの理解	③施設管理・地域資源の保全強化	C	生徒の理解を深め将来の保全につなげたい
②地域の歴史等の伝承	B	作る事で地域の農業が継承されていることへの理解	④運動の地域づくりへの関わり	A	継続していくことで関わりを深めている
③運動の先駆性	B		⑤農地•水•環境保全向上対策への貢献	A	活動組織の役員として参加している。活動に必要な資料や地図を作成して提供
３．運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	活動を通じて地域農業について理解と関心を深めてもらい将来の担い手につながればよいと思う
①運動の継続性	A	今後も継続していきたいと考えている	５．今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	学校全体の活動としパンフレットでもＰＲ			
③運動の計画性	A	年度当初に学校側との計画の立案			

（自己判定）A：大いに達成している　B：達成している　C：少しは達成している　D：達成していない　E：その他